

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 19-001

PDCA	事務事業名	放課後児童健全育成事業	部課等名	健康子ども部 子育て支援 課育成担当	担当	豊田	
					内線等	406	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 1. 子育て・子育て支援					
		単位施策： (2) 子どもの健やかな育ちへの支援					
	根拠法令等	半田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、半田市放課後					
	対象・目的	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生等に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成をはかる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	NPO法人等民間団体に事業を委託して運営。事業の着実な推進のため、事業実施に必要な施設の土地及び家賃の家賃を補助するほか、施設整備費等の補助、保育料の補助(課税状況別補助及び多子世帯補助)を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①放課後児童健全育成事業委託件数		19	20	20	か所
		②入所児童奨励費(補助金)支給件数		585	660	746	件
		事業費		227,097	258,837	249,294	千円
		人件費		9,426	11,473	8,235	千円
		総事業費		236,523	270,310	257,529	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①児童1人当たりに要した費用(総事業費)		285,656	290,344	250,271	円	
	②クラブ1箇所当たりに要した費用(総事業費)		12,449	13,516	12,876	千円	
	成果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①クラブの登録児童数	実績値	828	931	1,029	人
			目標値	879	935	987	
		②クラブ数	実績値	19	20	20	か所
目標値			19	21	21		
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある				
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある			
	事業の評価・課題	B 成岩小学校区の利用希望の増加に対応して、学校敷地内に公設施設を新設した。また、半田市が事業を委託している19クラブについて、令和4年度より保育料や開所時間等を統一化するため、各クラブへ実施意向調査を行う等調整を進めた。今後も引き続き公設民営化を推進する必要があることに加え、保護者負担金の事前協議や放課後児童クラブの現地指導監査の仕組みの構築、長期休暇中のみの受入需要への対応が課題である。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 受入需要の増加への対応と児童の移動の安全確保のため、放課後児童クラブの公設民営化を推進する。また、保護者の経済的負担を軽減するため、保育料等保護者負担を今後も適宜見直す必要がある。引き続き、民間事業所との連携・協働のもと、児童に放課後の安心安全な居場所を提供し、学齢期の子どもの発達を保障し健全育成に努めていくとともに、「小1の壁」の解消や、子育て中の保護者の就労促進を図る。					
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①クラブ数		21	か所		
		②クラブの登録児童数		1,089	人		